

AERON® CHAIR



定期的にお手入れをしていただくと、ハー
マンミラーのアーロンチェアは長期間優れ
た機能を維持し、何年にも渡ってご満足い
ただけます。ハーマンミラー製品の品質を
維持するためにも、こちらに記載されてい
るクリーニング方法にしたがってお手入れ
してください。

1. ベース、フレーム、アームパッド:

中性洗剤を溶かしたぬるま湯に柔らかい布を浸し、
表面を拭きます。

柔らかい布でしっかりと水分を拭き取ります。

溶剤や台所用洗剤などは使用しないでください。



2. 8Z PELLICLE® サスペンションマテリアル:

必要に応じて、張地用のアタッチメントを使用してファブリックに掃除機をかけます。

埃を吸い上げれば、専門業者に依頼する必要が省けます。

ファブリックをブラッシングしたり、掃除機に回転ブラシのアタッチメントを装着させて使用しないでください。

ブラッシングすると、ファブリックの表面が回復不能なほど痛んで毛羽立ったり、風合いが変わってしまう場合があります。

4. コーヒー、ソフトドリンク、フルーツジュース、ミルクなど水性の汚れの場合:

水性の洗剤(ファブリック用の洗剤)または中性洗剤(アルカリ性)をぬるま湯に(洗剤を薄めに)溶かした溶剤に、きれいな布またはスポンジを浸して使用します。

革またはクッションに洗剤を添付します。

残っている溶剤をすべて吸い上げたら、冷水に浸したきれいな布またはスポンジを使用して残留物を取り除きます。

熱湯は使用しないでください。汚れが定着してしまいます。

擦らないようにしてください。

6. 汚れが大きい場合:

汚れが大きい場合は、専門のクリーニング会社にお問い合わせください。

3. 染みの除去:

吸収性のある柔らかい布で、すぐに汚れを吸収します。

汚れを完全に乾燥させないようにします。乾燥させてしまうと汚れが定着してしまいます。

染みは時間が経過するほどファブリックに残りやすく、取り除きにくくなります。

5. 口紅や整髪剤のグリース、サラダドレッシングなど油性の汚れの場合:

ドライクリーニング溶剤を湿らせたきれいな布またはスポンジを使用します。

最初に、目立たないよう小さな部分で溶剤をテストしてください。

染みや輪染み、ファブリックの損傷や色落ちなどがなければ、汚れた部分をクリーニング溶剤で軽く、素早く叩くように拭き取ります。

染みの外側から中央に向かって拭き取りますが、溶剤をファブリックに染みこませ過ぎないように注意してください。

K2Rも使用できる製品です。製品の成分表示欄をしっかりと確認してください。

ファブリックには、水や溶液をかけ過ぎないようにしてください。

ファブリックを溶液で過剰に濡らしてしまうと、マテリアルに回復不能な損傷が生じてしまうことがあります。

勢いよく擦ると、ファブリックの表面が傷んで毛羽立ったり、繊維を損傷する場合があります。

溶液は、一回で大量に塗布するのではなく、軽く数回に分けて塗布するようにします。

残っている溶剤をすべて吸い上げたら、冷水に浸した別のきれいな布またはスポンジを使用して残留物を取り除きます。

ファブリックをしっかりと乾かしてから、使用する前に丁寧に掃除機をかけます。

それでも染みが残っている場合は、染み抜きの専門家に相談してください。